

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

第6回佐伯市立幼稚園及び小・中学校教育問題検討協議会

2 開催日時

令和4年10月28日（金） 14時から16時まで

3 開催場所

所在地 佐伯市中村東町6番9号

会場名 佐伯教育市民ホール「まな美」3階 市民多目的ホール

4 出席者

委員：清松今朝見、板倉慎二、寺谷英男、宮崎正豊、藤原薫、木許喜久
尾形紀美子、相川良恵、石橋玄一郎、森脇郷子、小野和章
以上11名（17名中）

事務局：石井学校教育課長、川野体育保健課長、
加嶋学校教育課長補佐、柳井総括主幹
以上4名 他 関係課担当職員（5名）

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

1人

7 議題・結果

◇各議題について事務局より説明し、委員より意見をいただいた。

◇部会にわかれ、事務局が進行し、各委員より意見をいただいた。

①市立小・中学校の今後のあり方（適正規模・適正配置）について

■統廃合を行う条件について

→・子どもの数が減れば当然統廃合の検討がなされるだろう。学校存続を望む声にも耳をかたむけ、早めのスケジュールリングと児童生徒、保護者、地域への丁寧な説明を繰り返し行い進めていくしかないのではないか。

・統廃合の検討を始める基準を市民に示す。これを下回ると検討が始まるというようなことを周知し、検討が始まればその内容については地域事情を考慮し、一律には線を引かない

・統廃合は子どもや保護者の意見を尊重すべき。やりたい部活が出来る環境を。

・施設の老朽化、教職員の人材不足等々も検討材料。

■地域に根差した学校、地域とともにあす学校の在り方について

→・学校の児童生徒を対象とした体験活動や地域を知る活動に公民館（コミュニティセンター）等との連携を進めてほしい。

- ・児童生徒と地域住民の交流の場、コミュニケーションの場の確保が大切。積極的に作って欲しい。

②休日の部活動の段階的な地域移行について

■答申案について

→・具体的に平日教員が指導し、土日は練習試合や大会に参加するのにそこは教員が参加しないということが難しいと思う。その辺のイメージが難しい。また、方向性を全ての学校が共有していくことにも時間が必要ではないか。

- ・吹奏楽部も楽器によっては大きな楽器もあるので、毎週は移送するのは難しいのではないか。

- ・地域移行には指導者の育成が不可欠。育成に力を入れてもらいたい。

③中学校制服の選択制について

■制服の選定方式について

→・方式については業者や販売店の意見を聞いて一番いい方法をとればよいのではないか。

- ・基本的には制服の価格がより安くて、市内のどこでも買えるのがよい。

- ・選定方式に変更をしても導入までの時間は変わらないのであればよい。迅速に対応してもらいたい。

8 審議の内容

・佐伯市立小・中学校の今後の在り方

（適正規模・適正配置）について

（1）第5回検討協議会までの振り返り

（2）小規模特認校を取入れる条件及び統廃合を行う条件について

（3）佐伯市立小・中学校の今後の在り方（適正規模・適正配置）について（答申案）

（4）その他

・休日の部活動の段階的な地域移行について

（1）国や県、他市町村の現況について

（2）佐伯市における「休日の部活動の段階的な地域移行」（答申案）について

（3）次回の取組について

・中学校制服の選択制部会

（1）第5回協議会の振り返り

（2）制服作成について

（3）これからの予定について

9 会議の資料名一覧

- ・合併以降の学校統廃合の形態
- ・小中一貫校 蒲江翔南学園 学校経営方針
- ・掛川市部活動地域展開推進事業 掛川市教育委員会作成資料
- ・制服作成に係るメーカー選定方式（参考例）

10 問い合わせ先

佐伯市教育委員会	教育総務課	電話番号	22-4070
	学校教育課	電話番号	22-4670